

可惜夜の悪魔の漫画の感想レビューに関するアンケート調査結果

■アンケート調査概要

調査目的	可惜夜の悪魔の漫画の感想レビューに関するアンケート調査
調査対象	可惜夜の悪魔を読んだことのある20代～40代の男女13名
調査期間	2025年2月3日～2025年2月4日 2026年2月18日～2026年2月19日 2026年4月17日～2026年4月18日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドワークス
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/atayayonoakuma/

■アンケート項目

Q1: 年代と性別を教えてください。

Q2: 『可惜夜の悪魔』を実際に読んだ評価を5段階で教えてください。

Q3: 『可惜夜の悪魔』を実際に読んだ感想を教えてください。

Q1: 年代と性別を教えてください。

回答	回答数
20代女性	1名
30代女性	2名
40代女性	4名
30代男性	4名
40代男性	2名

Q2: 『可惜夜の悪魔』を実際に読んだ評価を5段階で教えてください。

～～作品の5段階評価について～～

★★★★★(とても面白かった): 絵・物語・キャラに魅力を感じた。続きがあればぜひ読みたい

★★★★(面白かった): 漫画の内容で面白かったり、満足できる要素が一つでもあった。

★★★(普通):面白いとも面白くないとも言えない。
 ★★(面白くなかった):あまり好きではない描写や要素があった。
 ★(全く面白くなかった):読んでいて不快・退屈だった。

★★★★★	5人
★★★★	8人
★★★	0人
★★	0人
★	0人

Q3:『可惜夜の悪魔』を実際に読んだ感想を教えてください。

夏休み中Bに会えず寂しかった譲が、Bから泊まりの誘いを受けて嬉しそうにする所が可愛かったです。お母さんに友達の家泊ると嘘をついて来たことを思い出した途端、後ろめたさを感じ始める譲が純粋で可愛かったし、譲の気持ちを察して優しく声を掛けるBが良かったです。泣きそうになりながらも、帰ろうとする譲を止めるBにドキドキしたし、LINEを交換してテンションが上がる譲を見て、微笑ましくなりました。

夏休みの間、田舎に帰省していて会えなかったBから、自分に会えなくて寂しかったと取れる発言をされたうえ、今度家に泊まりに来ないかと誘われ、友達の家に行く嘘を吐いてBのもとへ行ったにも関わらず、罪悪感でいっぱいになってしまう譲と、そんな彼女に帰っていいよと声を掛けながらも、帰っては欲しくないBの不器用で天邪鬼なところにキュンキュンさせられました。表情はしっかり女な譲と、すごく人間らしくて譲に対する愛情を隠しきれないBのもどかしい感じに、甘酸っぱい気持ちになりました。

譲ちゃんが凄く可愛らしくていいです。ドキドキしちゃう感じがよくて、本当に健気で愛おしい存在です。それでいて譲ちゃんの反応とか凄く可愛らしくて好きになってしまいます。顔真っ赤にしながらも必死によじれている譲ちゃんが可愛らしくてよかったですね。

Bと譲の関係性がとても面白い作品です。作中、譲が親に嘘をついてしまう場面があるのですがそこでの葛藤の部分を非常に丁寧に表現していてすごく好印象でした。この場面があることでBということがよりいい感じに繋がるようになっているのでたまりません。

この作品のヒロインに注目してほしいです。とても純粋で可愛らしい女の子なのです。Bにされているときの顔などすごくそそる場面も多いので必見です。

女の子がめちゃくちゃかわいくて、濃厚なんだけど二人のやりとりは青い感じの甘酸っぱさがあって作者の人のセンスがやばいですね。胸がキュンキュンするかわいさとの対比がすごいです。もどかしいような空気感が絶妙でめちゃくちゃハマりました。

本作のヒロイン・譲ちゃんも作者の関谷あさみさんお得意のちょっと背伸びがしたいお年頃な女の子で、あどけない表情ととろけている表情のギャップがとても魅力的だと感じました。

大人なBくんと恋。でも大人なようでまだまだお子様なところもあってBくんにもキュンキュン来ちゃいます。もっと素直に思いを伝えてくれてもいいのですが、そうはいかないところがこの年齢なんですよ。振り回されているようで振り回してる、そんな関係もいい。

Bさんの正体を知っているにもかかわらず、ふだんの姿はちょっとユルめのカッコ良いお兄さんにしか

見えない彼に完全に恋しちゃってる譲ちゃんのウブさがいいです。また、甘々責めとか優しげな調子で意地悪なこと言いながら決定的な刺激は与えないBさんの焦らしが最高でした。

関谷あさみ先生による同シリーズの6作目。今回も譲ちゃんとBのお話です。相変わらずの良い意味で青さを感じさせる心理描写が良い。Bは人外なんだけど譲を引き止めようとしたり、変に人間味のあるBが面白い。回を重ねる毎に(精神的に)譲の方が大人っぽい感じになってるのは気のせいだろうか、、?(笑)いや、これがBの悪魔的な魅力なのか。

まだまだ若いヒロインがかわいらしい。かわいらしいんだけど、しっかり成長していて大人の女性な面もちらちらと見せてくるからドキッとす。対する相手は淫魔で、恋についてはお手の物。手のひらで転がしてるかということそんなことはないんですね。恋すると誰もがそれに翻弄されて不器用になっちゃうもんなんですよ。そんなのが伝わってくるからいとおしい。

切なさすら感じるふたりの関係性がとてもいいですね。少女っぽさ、さらには自立の問題とか入れるとますます可愛いんですが、年頃女子の心情が丹念に描かれていて、それを優しく受け止める大人の男も魅力に感じました。ふたりの雰囲気、空気感がとても自然で心に入ってきます。

相変わらず譲もBも可愛いんですが、今回特に印象に残っているのは、Bが譲の扱いに困っているところですね。確かに、譲って本当に乙女ですし、むちゃくちゃ繊細な女の子なんですよね。さすがのBも難しいと声に出るほど困ってました。あの髪の毛越しにムスツとしている顔が面白かった。譲はいつもどおり可愛くて、さすが不可不可さんといったところです。あと、一番のお気に入りのシーンは、服を脱ぎながらするシーン。この肌が触れ合うところが、妙に生々しくて最高でした。ベランダで話すシーンもエモい。

漫画全巻の部屋

by (株)グリュックス